



4/4

プロバスケットボールチーム茨城ロボッツ ホームゲームで自治体 PR デー



昨年度、市と(株)茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント(川崎篤之代表取締役社長)が、フレンドリータウン協定を締結したことから、4月4日に「筑西市 PR デー」が実施されました。自治体の PR ブースの出展や設楽市長がコートから本市の魅力を観客にアピールするなど、バスケットボールファンと交流しました。

4/19

ご当地ソング・女方音頭の記念碑 地元の魅力を後世に残す



女方音頭の魅力を後世につなごうと、女方音頭プロジェクト(並木勝利代表)が、動画を見ることができる二次元コードの彫られた記念碑を、女方千手観音境内に建立しました。除幕式の会場では、地域の女性会のみなさんによる女方音頭の披露も行われ、郷土の受け継がれてきた魅力を再認識していました。

4/25

笑顔のいのちキャラバン 動物の命の大切を考える



(一社)下館青年会議所の笑顔と心でつなぐ未来創造委員会(吉原大暁委員長)が道の駅グランテラス筑西で、動物の命の大切さを考えるイベントを開催しました。

当日は、命について考えるお話教室や小動物と触れ合える移動動物園が企画され、子ども達の動物を大切に作る心を育みました。参加した子ども達は、ヘビを触ったりヤギにえさを与えたりして、普段触る機会が少ない動物達とのふれあいを楽しんでいました。

5/7

水戸ホーリーホックのホームタウン 石岡市・筑西市・桜川市 が追加に



石岡市・桜川市と共に筑西市が、サッカー J1 水戸ホーリーホックのホームタウンに追加されました。今後は、チームの PR・集客支援や、スポーツを通じた元気で明るいまちづくりの推進に、より一層取り組んでいきます。設楽市長は筑西市育ちの飯田選手の活躍に触れながら「プロ選手と接することで、子ども達が大きく成長することを期待している」と今後の連携に期待を込めました。



今、最も熱いサッカーチーム 水戸ホーリーホック

水戸市を中心に活動するプロサッカークラブ。J2 参入から 26 年、2025 シーズンに J2 リーグ優勝及び J1 昇格を果たし、2026 シーズンから J1 の舞台に挑戦する。



注目選手 *Player to watch*

DF 飯田 貴敬 選手

桜川市生まれ・筑西市育ち。

2026 シーズンでは主将を務める。

筑西市ホーリーくん

ダイヤモンド筑波と明野のひまわり畑を背景に、特産のこだますいかとホーリーくんの手には筑西の梨を持つ。





フィリピン共和国 × 筑西市



4/17 フィリピンの魅力を学ぶ 大使館職員が中学生にオンライン英語授業



▲フィリピン大使館の職員

市では、フィリピン共和国の都市との将来的な友好都市締結の可能性を視野に入れ、市内の中学生がフィリピンの文化について理解を深める機会として、同国大使館職員によるオンライン英語授業を実施しました。生徒は動画や、大使館職員の説明をとおして、フィリピンの文化や気候について学びを深めていました。



授業を受けて

バナナが有名という印象が強かったのですが、マヨン火山など知らないフィリピンの魅力を知ることができて、とても楽しかったです。



4/18・19 移動大使館を市内で開催 フィリピン共和国の人達の生活をサポート

市総合福祉センターで、フィリピン共和国の移動大使館が開設され、市内や近隣市町村で暮らすフィリピン国籍の人達が手続きに訪れました。

移動大使館……大使館・領事館から遠隔地に住む国民のために、職員が現地に赴き、旅券申請や書類認証などの領事サービスを提供する臨時的窓口



5/9・10 浅草橋紅白マロニエまつり 旬の野菜などで魅力をPR



連携協定を結ぶ東京都台東区で「第19回浅草橋紅白マロニエまつり」が開催され、本市が出展しました。旬である筑西ブランドのこだますいかやスーパーフルーツトマトなどを販売し、「新鮮でおいしそう」と筑西の特産品を手にとる来場者の姿が見られました。

5/11 農業の未来を明るく照らす オーガニック米の栽培スタート



市では、環境に配慮した持続可能な農業の推進を目的として、有機農業の拡大に取り組んでいます。設楽市長は、新たに有機農業を始める生産者・内田浩史さんなどと共に、稲の苗を手植えし、有機農業の試験栽培がスタートしたことをPRしました。

第48回全国ジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会茨城県予選会

2月21・22日
笠松運動公園山新スイミングアリーナ
(ひたちなか市)



【男子50m自由形・男子100m自由形】
優勝 廣瀬 大悟 (大田小6年)

第6回コスモ全国ドッジボール大会

3月21日
マルワアリーナとちぎ (栃木市)



優勝 コスモスポーツクラブ チーム川島

5/8

シャリシャリ食感と甘さが抜群
こだますいかは今が旬



JA北つくばこだま西瓜部会(鯉淵元草部会長)が設楽市長を表敬訪問し、旬を迎えたこだまスイカをPRしました。また、鯉淵部会長は「今年度から部会オリジナル品種『あまRich』の生産を始め、新規就農者支援にも力を入れている」とこだますいか生産地振興の取り組みについても報告しました。

企業版ふるさと納税

昭和産業株式会社グループ各社 様



シティプロモーション推進事業に対し合計460万円の寄付をいただきました。

青森昭和産業株式会社 三浦 聖常務取締役 / 山形昭和産業株式会社 横山 純也代表取締役 / 北興昭和株式会社 加藤 慎也代表取締役 / 株式会社北昭 狩野 亮取締役社長 / 宮城昭和産業株式会社 羽田 和美代表取締役 / 秋田昭和産業株式会社 一戸 敏雅取締役工場長 / 福昭産業株式会社 櫻井 健之代表取締役社長 / 有限会社県南製作所 佐藤 富幸代表取締役 / 山形線材鋼業株式会社 星川 悟志取締役工場長 / 昭和花泉株式会社 高橋 智之取締役工場長 (計10社)



Think globally, Act locally ~地球規模で考え、地元から行動する~



本市で誕生した日本舞踊「星宮流」が今年27周年

明野地区で、日本舞踊の師範として活躍された先代が、家元として創流した日本舞踊「星宮流」が今年27周年を迎えます。男女問わず親しまれていた伝統芸能ですが、近年、バレエやヒップホップなど、西洋の舞踊は身近に学ぶことができる一方、東洋の舞踊である日本舞踊は、踊り手の高齢化や若い人が遠ざかっているのが課題です。

現在の家元 ^{ほしみやかずき} 星宮和希先生は、日本舞踊を地域のみなさんに気軽に楽しんでもらえるよう、市内の小学校やコミセンなどで教室を開催しています。

また、先生は明野五葉学園で令和7年度に初開

催された五葉盆踊りの「五葉音頭」の振付けを担当され、日本らしい美しい踊りを後世に残す活動に取り組んでいらっしゃいます。今後も、日本の伝統芸能が、地域のみなさんの手で守られていくことを期待します。



日本舞踊「星宮流」のみなさんと設楽市長

EMICOLUMN